

シリーズ最高画質と高速印刷を両立した“Satera 971Ci”など 9 モデルを発売
大量印刷から POP 印刷まで、ユースケースに応じた印刷物をきれいに素早く提供

キヤノンは、ビジネス向けプリンター・複合機「Satera」シリーズの新製品として、“Satera 971Ci”など計 9 モデルを、2025 年 11 月 13 日に発売します。



Satera 971Ci
* オプション装着時



Satera LBP672C II



Satera MF755Cdw II

新製品は、ビジネスにおける「きれい」「はやい」「あんしん」のニーズに応える 9 モデルのラインアップです。「きれい」では、次世代露光デバイス「D² Exposure」（ディー・スクエア・エクスポージャー）や鮮やかな色再現が可能なトナーなど、各製品に適した高画質技術を搭載し、高品位なプリントが可能です。「はやい」では、大容量給紙が可能で高速・大量印刷が必要なオフィス向けの“971Ci”、ファーストプリントが速く窓口業務に適した“LBP672C II”、「アプリケーションライブラリ」の搭載で定型業務に適した“MF755Cdw II”などにより、生産性向上を支援します。「あんしん」では、「おすすめセキュリティー設定」機能により、専門知識がなくても使用環境に適したセキュリティー設定をサポートします。さらに、プリンター本体への再生プラスチック採用や、トナーカートリッジの梱包材における発泡スチロール不使用など、環境配慮にも取り組んでいます。

■ 次世代露光デバイス「D² Exposure」搭載でシリーズ最高画質と高速大量印刷を両立する“971Ci”

A3 カラープリンター“971Ci”では、光源に LED マルチチップを採用した新露光デバイス「D² Exposure」を搭載しています。Satera シリーズでは最高解像度※¹となる 4,800×2,400dpi を実現し、営業提案書や建築・製造分野の設計図面など、さまざまな成果物を高品位に制作できます。A4 片面で毎分 60 枚の高速印刷ができる生産性に加え、本体寿命として 200 万枚まで印刷できる高い耐久性も備えています。併せて、オプションの給紙カセット※²を装着すると、最大 7,250 枚、同時に 6 種類の用紙をセットでき、用紙交換や補充の手間を軽減します。

■ 高速ファーストプリント・両面印刷で窓口業務や店舗のチラシ印刷などに適した“LBP672C II”、“LBP646C”

A4 カラーレーザープリンター“LBP672C II”は、A4 片面で毎分 33 枚、両面では毎分 29 枚、ファーストプリントは約 7.1 秒※³、“LBP646C”は、A4 片面で毎分 25 枚、両面では毎分 15 枚、ファーストプリントは約 10.4 秒※⁴の素早い印刷が可能です。クリニックの受付など、スピーディーな帳票印刷が求められる対面業務に貢献します。また、両モデルとも鮮やかな色再現が可能なトナーを採用し、店舗のプライスカードやチラシなども高画質かつ迅速に制作できます。

■ 「アプリケーションライブラリ」搭載で定型業務の効率化を支援する“MF755Cdw II”、“MF665Cdw”

A4 カラーレーザー複合機“MF755Cdw II”、“MF665Cdw”は、事前に登録した定型業務をワンタッチで行うことができる「アプリケーションライブラリ」機能を搭載しています。クリニックの問診票などの手書き原稿のスキャンや、ユーザー指定のフォルダへの送付などを、PC を使うことなくワンタッチで実行することができ、誤送信の防止や業務効率の向上に貢献します。高速両面同時スキャンが可能な ADF（自動原稿送り装置）※⁵は、A6 サイズや名刺などの小サイズ紙にも対応しており、多様な紙文書の電子化を促進します。

※¹ 2025 年 10 月 23 日現在。（キヤノン調べ）

※² 「2 段カセットベディスタル・AY1」、「大容量カセットベディスタル・F1」および「ペーパーデッキユニット・F2」（すべて別売り）

※³ A4 モノクロおよびカラー片面印刷時。測定環境の詳細は、キヤノン公式ウェブサイトをご参照ください。

※⁴ A4 モノクロ片面印刷時。A4 カラー片面印刷の場合は約 10.5 秒。測定環境の詳細は、キヤノン公式ウェブサイトをご参照ください。

※⁵ “Satera MF663Cdw”は片面読み取り ADF。

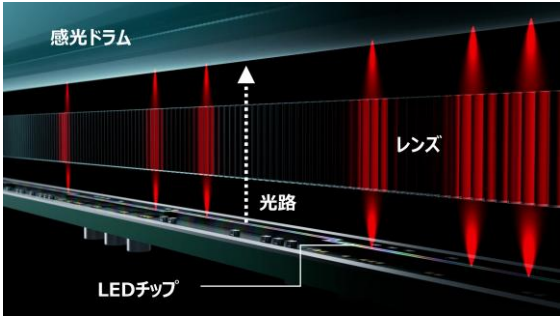
製品名	希望小売価格	発売日
971Ci (A3 カラープリンター)	オープン価格	2025年11月13日
LBP672C II / LBP671C II (A4 カラーレーザープリンター)		
LBP646C (A4 カラーレーザープリンター)		
MF755Cdw II / MF753Cdw II / MF751Cdw II (A4 カラーレーザー複合機)		
MF665Cdw / MF663Cdw (A4 カラーレーザー複合機)		

-
- 一般の方のお問合せ先 : レーザープリンター (971Ci 含む) <https://canon.jp/support/contact/lbp>
レーザ複合機 <https://canon.jp/support/contact/mfp>
 - Satera ホームページ : canon.jp/satera/

〈主な特長〉

1) 次世代露光デバイス「D² Exposure」搭載でシリーズ最高画質と高速大量印刷を両立する“971Ci”

- 画像生成の重要なプロセスである露光方式を刷新。シリコンウエハー上の高密度回路に、有機 EL 層を蒸着して生成した LED マルチチップ採用の次世代露光デバイス「D² Exposure」を搭載。チップ内の発光部を精密に配置し、感光ドラムの回転に合わせて露光することにより、Satera シリーズ最高解像度となる 4,800×2,400dpi を実現。
- 画像の滑らかさや、細線の再現性、白抜き／小サイズの文字の鮮鋭度が従来機種^{※1} より向上。営業提案書や設計図面など、さまざまな成果物を高品位に制作可能。
- A4 片面で毎分 60 枚の高速印刷性能を備えるとともに、本体寿命 200 万枚の高耐久性を保有。さらに、オプションの給紙カセットを装着した場合、最大 6 種類、計 7,250 枚の用紙セットが可能。用紙交換や補充の手間を軽減。
- 従来機種と比較して対応メディアを拡大し、1,300mm までの長尺用紙^{※2} や B6 サイズにも対応。また、カセット給紙では 300gsm までの厚紙^{※3} にも対応し、表彰状やメニューなどの内製化が可能。



「D² Exposure」の仕組み



「D² Exposure」による印刷品位の画質の向上イメージ^{※4} (各画像の下)

※1 「Satera LBP961Ci」(2021 年 12 月発売)
 ※2 給排紙オプション(別売り)が必要。
 ※3 カセット 1 は 256gsm までの用紙に対応。
 ※4 本画像は、効果を分かりやすく伝えるための CG イメージで、「D² Exposure」のレーザースキナー方式に対する原理的な優位性を説明するものです。

2) 高速ファーストプリント・両面印刷で窓口業務や店舗のチラシ印刷などに適した“LBP672C II”、“LBP646C”

- A4 カラーレーザープリンター“LBP672C II”は、A4 片面で毎分 33 枚、両面では毎分 29 枚、ファーストプリントは約 7.1 秒の高速印刷が可能。
- A4 カラーレーザープリンター“LBP646C”は、A4 片面で毎分 25 枚、両面では毎分 15 枚、ファーストプリントは約 10.4 秒の高速印刷が可能。
- 両モデルともに鮮やかな色再現が可能なトナーを採用。表現できる色の範囲が広く、店舗のプライスカードやチラシなど、高画質でスピーディーな印刷ニーズに対応。
- 交換作業が簡単で手も汚れにくく、部品ごとの交換が不要なドラム一体型トナーカートリッジを採用。



“LBP672C II”、“LBP646C”の印刷イメージ
 鮮やかさや暗部の階調・質感を再現

3) 「アプリケーションライブラリ」搭載で定型業務の効率化を支援する“MF755Cdw II”、“MF665Cdw”

- 事前に登録した定型業務を、PC を使うことなくワンタッチで行うことができる「アプリケーションライブラリ」機能を搭載。プリントでは、受付カウンターのプロアマップや、小売業の本部サーバーに格納したチラシなどを各店舗でスムーズに出力可能。スキャンでは、手書きの契約書をユーザー指定のフォルダへワンタッチで送信可能で、誤送信を防止。
- A4 モノクロ両面で毎分 100 枚、A4 カラー両面で毎分 80 枚の高速両面同時スキャンに対応した ADF を搭載。A6 サイズや名刺などの小サイズ紙も連続スキャンが可能で、多様な紙文書の電子化を促進。
- カラーで見やすく、タッチやフリックなどの直観的な操作が可能な 5 インチカラータッチパネルを採用。日常業務に合わせてメニュー画面をカスタマイズすることも可能。



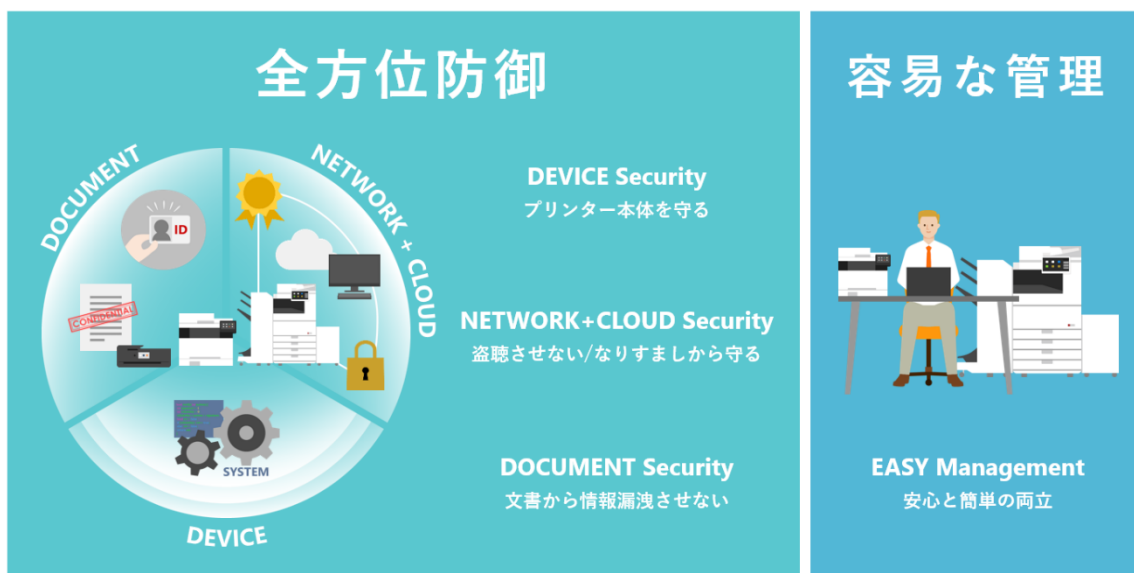
「アプリケーションライブラリ」機能の例（左：初期画面 右：設定後）
定型業務をワンタッチで実行できるよう業務に合わせてカスタマイズが可能

4) 全方位を防御する堅牢なセキュリティー機能で情報漏えいリスクを低減

- プリンター本体（DEVICE）、ネットワーク（NETWORK+CLOUD）、印刷物（DOCUMENT）の全方位からセキュリティー対策を実施。また、高度なセキュリティー性能を備えながら管理の容易性（EASY Management）を両立し、管理者の負荷を低減。
- DEVICE Security においては、起動時にプログラム改ざんの有無を検証し、安全性を確認して起動を実行。問題があった場合は起動を停止、または自動で復旧し、不正なプログラムによる被害を未然に防止。
- NETWORK+CLOUD Security においては、2 系統の LAN^{*1}、通信の強固な暗号化プロトコル「TLS1.3」の搭載に加え、無線 LAN のセキュリティープロトコル「WPA3」の規格と、不正アクセスを防止するユーザー認証規格「IEEE802.1X」に対応しており、ネットワーク上のデータ保護とクラウドへのセキュアな接続を確保。情報漏洩リスクへの対策として、ユーザーID やパスワードを共有せず安全な認証連携が可能な「OAuth2.0」^{*2} に対応。さらに、米国国立標準技術研究所（NIST）が策定した暗号規格「FIPS 140-3 認証」^{*3} を取得^{*1}。高信頼の技術でストレージの全データ、ネットワーク上のデータを暗号化し、ユーザーの大切なデータを保護。
- DOCUMENT Security においては、本体パネルで指示をしてから印刷を開始する留め置き印刷に対応し、印刷物の放置や持ち去りを防止。
- EASY Management においては、「社内イントラネットタイプ」、「インターネット直結タイプ」など 6 つのタイプから設定を選択するだけで、80 以上のセキュリティー項目の一括設定が可能な「おすすめセキュリティー設定」に対応。セキュリティーに関する専門知識がなくてもセキュアな使用環境を構築。また、管理者向けの IT 監視システム「SIEM」に対応し、管理業務をサポート。

環境タイプ選択	
1 社内イントラネットタイプ	>
2 インターネット直結タイプ	>
3 インターネット禁止タイプ	>
4 在宅タイプ	>
5 公共スペースタイプ	>
6 高機密情報管理タイプ	>

ユーザーの使用環境に合わせてセキュリティー設定をサポート



本体・ネットワーク・印刷物の全方位を防御するセキュリティー対策

※1 “971Ci”が対象。

※2 “LBP672C II/LBP671C II/LBP646C/MF755Cdw II/MF753Cdw II/MF751Cdw II/MF665Cdw/MF663Cdw”が対象。

※3 「Federal Information Processing Standard 140-3」の略。暗号モジュールに関するセキュリティー要件の仕様を規定する米国連邦標準規格。

5) 再生プラスチックの採用やトナーカートリッジ梱包材での発泡スチロール不使用など環境にも配慮

- 本体部材の一部に再生プラスチックを採用。本体樹脂材料の総重量において、“971Ci”では約 30%、“LBP672C II”、“LBP646C”、“MF755Cdw II”、“MF665Cdw”では約 5%の再生プラスチック使用率を達成。
- “971Ci”では、本体梱包材の発泡スチロール使用を廃止し、段ボールを採用。
- 全ての新製品において、トナーカートリッジの梱包材の発泡スチロールを不使用。



“LBP672C II”、“MF755Cdw II”のカートリッジには
梱包材に段ボールを採用

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノン公式ウェブサイトをご参照ください。

・レーザープリンター（971Ci 含む）

<https://canon.jp/biz/product/printer/satera/lbp>

・レーザー複合機

<https://canon.jp/biz/product/printer/satera/mfp>

〈レーザープリンター/レーザー複合機の市場動向〉

働き方の多様化に伴い、業務効率や質の高いアウトプットが求められるとともに、場所を問わずいつでも安心して快適な印刷・スキャンができる環境が望まれています。レーザープリンター／複合機では、セキュリティー対策の強化や Wi-Fi、クラウドサービスとの連携が重視されるほか、持続可能な社会の実現に向けた取り組みとして、環境配慮のニーズも高まっています。

（キヤノン調べ）

* Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。